

## 第2学年 道徳学習指導案

日時 平成17年10月28日(金)  
11:30~12:20

授業会場 盛岡市立厨川中学校 2年5組教室

対象 盛岡市立厨川中学校

2年5組(男20名、女17名、計37名)

指導者 盛岡市立厨川中学校

教諭 松村 摂子

1 主題名 「やり抜く心」(1 - (2))

2 資料名 講師講話「イラストレーターになるまで」(講師 中村雄幸さん)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

内容項目1-(2)は、「物事に積極的に取り組み、困難に屈しないで粘り強く最後までやり通そうとする態度を育てる。」である。

人間としてよりよく生きるためには、目標や希望をもつことが大切である。しかし、「よりよく生きたい」という願いを持ちつつも、思うようにいかない状況や困難に直面すると簡単に挫折し、日々の目標を見失って怠惰な生活を送ることが少なくない。困難を自分の力で乗り越えて目標を達成すれば、その達成によって成就感を味わい、自信をつけさらに新たな目標に立ち向かおうとする意欲を持つことができる。この繰り返しの中から強い意志が養われ、生きることへの希望がはぐくまれると考える。

中学生になり、さまざまな集団に属して生活している生徒達にとって、日常の生活や学習、部活動などで目標を持ち努力することが中学校生活3年間の大きな財産となる。しかし、この時期自分の好きなことに対してはよく頑張るが、そうでない場合は、少々の困難に直面しても意欲を失ったり、簡単にあきらめてしまうことが多い。また、約1年半後に迫る卒業後の進路も徐々に考えていかなければならない。先のことをあまり深く考えず日々を過ごしている生徒達に、将来の夢や目標を持つことの大切さと、その達成のためには強い意志と最後までやり抜こうとする態度が大切であるということを感じさせたい。

(2) 生徒について

2年も2学期になると、お互いを少しずつ理解しあい、体育祭や文化祭などの行事をとおして、集団としてのまとまりもできてきている。また全体的に素直な生徒が多い。しかし、自己中心的で幼さが残る男子が、数名目立っており、時と場面をわきまえた行動ができないことがある。係活動や清掃は女子が中心となっておこない、クラスを支えている。

個々生徒の進路に対する意識はまだ薄く、目標も漠然としていたり、目標のないまま日々を過ごしていたりしている。特に学習において、意欲を失いあきらめている生徒が数人いる。

道徳性検査「HUMAN」の結果からみると、項目1の「主として自分自身に関すること」においてが低い。

本学級の生徒たちに将来の夢や目標を考え、それに向かって努力することが日々充実した生活につながるということ、そして目標達成のためには、強い意志とやり抜こうとする強い意志が大切であるということを考えさせたい。また、生徒達はこれから様々な生活の局面で分岐点に立つことがあるだろうが、困難に負けずそれを乗り越えようとする態度を育てることが、新たな目標に向かって努力しようとする意欲を持たせることにつながると思う。

(3) 資料について

本校学区に住む、イラストレーターを講師として迎え、自分がイラストレーターになるまでの様々な過程等、経験に基づいた話をしていただく。なりたい自分を目指して、夢に向かえた理由と、さまざまな困難や、それへの努力を支えたものについて話は展開する。生徒達は講師の思いと生きる姿勢に、自分達の姿を重ねることができるだろう。目標を持つことの大切さ、その達成のためには、強い意志と最後までやり抜こうとする態度が必要であることを、生徒に気づかせる格好の資料であると考えられる。

4 本時の展開

(1) ねらい 目標をもち、強い意志をもって最後までやり抜こうとする態度を育てる。

(2) 展開

	学習内容	期待する生徒の心の動き	留意点
導入 5分	○ 講師の紹介とイラストの紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素晴らしいイラストだ。</li> <li>・こういうイラストが描けるなんてすごい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師のイラストを提示し、講師の経歴について簡単にふれる。</li> </ul>
展開 38分	<p>1 イラストレーターになるまでと、その仕事に就いてからの工夫、苦勞についての話を聞く。</p> <p>○ 講師の工夫や苦勞についての話を聞き、どんな思いを持ちましたか。</p> <p>2 イラストレーターという夢に向かっての努力を支えたものは何か、話を聞く。</p> <p>○ 講師の話聞いて、どういう思いが伝わってきましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢にむかってあきらめないことが大切だ。</li> <li>・イラストレーターになるまでいろいろな努力があったことが分かった。</li> <li>・努力し続けることが大切だ。</li> <li>・夢をあきらめようと思ったことはなかったか。</li> <li>・つらいこともあったんだなあ。</li> <li>・絶対になりたいという強い気持ち。</li> <li>・あきらめなくて、努力し続けること。</li> <li>・大変なこともあったけど、最後まで頑張ろうと思ったんだと思う。</li> <li>・最後までやり通すことが大切だ。</li> <li>・今の自分に自信をもって努力し続けること。</li> <li>・自分の弱い気持ちに負けない心の強さが必要だ。</li> <li>・自分を支えてくれた人に感謝する気持ち。</li> <li>・目標をもって、最後まであきらめなくて頑張ることが大切だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の話をも自分の経験と重ねながら聞かせる。講師と生徒との対話が広がるようできるだけ多くの生徒に感想や質問を発表させ、講師の苦勞にも共感させながら、考えを深めさせたい。</li> <li>・夢や目標を達成するためには、それに向かって、最初からあきらめないこと、強い決意をもってやり通すことが必要であることに気付かせると共に、物事をやり抜こうとしたとき、必ず周囲の人達の支えがあることにも気付かせたい。</li> </ul>
終末 7分	○ 生徒の感想発表と講師の感想を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからもイラストレーターとして頑張ってほしい。</li> <li>・今まで何事も簡単にあきらめてしまったことがあったけど、これからは目標を持って最後まで頑張りたい。最後までやり抜くことが大切だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの自分を振り返り、新たな気持ちで今後の決意を述べさせたい。講師への感謝の気持ちを伝えたい。</li> </ul>

5 評価 講師の話を通して、今後の自分の目標を表現できたか。

6 資料構造図 (分析図)

場面	主人公の意識	学習者の意識	意識の焦点化	主な発問
イラストレーターになるまでとその仕事に就いてからの工夫、苦勞。	<ul style="list-style-type: none"> <li>夢に向かってなりたい自分を指して努力する。最初からあきらめない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あきらめないで努力し続けること。</li> <li>絶対になりたいという強い意志が必要だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師の苦勞に共感させながらも、イラストレーターになるまでの努力に気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師の工夫や苦勞についての話を聞き、どんな思いを持ちましたか。</li> </ul>
イラストレーターという夢に向かっての努力を支えたもの。	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標や夢を深く思い続けること。途中であきらめないこと。自分の周囲の人達に支えられていること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分に自信をもって努力し続ける気持ちが大切だ。目標を持って、最後まであきらめないで頑張ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夢や目標を達成するためには、それに向かって強い意志をもってやり通すことが必要であることに、気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師の話を聞いて、どういう思いが伝わってきましたか。</li> </ul>

7 板書計画

